

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	growのおと上本町教室		
○保護者評価実施期間	2026年1月26日		～ 2026年2月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33	(回答者数) 29
○従業者評価実施期間	2026年1月26日		～ 2026年2月13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月3日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・困りごとや相談がある際は、専門性の高い職員が適宜応じている。	保護者様や相談内容に合わせて、その内容に対する専門性の高い職員が応じるようにしている。	お子様の当所での様子や、相談事を職員間で日々情報共有している。
2	・午前は1対1、午後は1対1～2（療育スタッフ対お子様）での手厚い支援を行っている。	各職員の専門性や経験を活かし、情報共有しながら一人ひとりの発達に沿った支援を心がけている。	外部への研修 支援の質の向上のため、職員間でのミーティング
3	・対象児に対して、どの職員でも同じ対応が出来るよう取り組んでいる。	日々のミーティングや意見交換を積極的に行い、情報共有している。	計画を作成する段階から、職員間で会議を繰り返し、方向性を共有している。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・クールダウンなどできるようなスペースが少ない。	待合室以外の個室スペースがない	パーテーションなどを使い、スペースを確保できるよう努めている。
2			
3			